

体にならないような感覚だと言っていました。

男性には「まぶやーぐみ」の修法で、小学生の頃のまぶやと大人になってから落とした2つのまぶやを体に呼び戻しました。その後は、脳梗塞の後遺症は多少あるもののしっかりした人生を歩めるようになりました。

人の肉体はもろいものです。そしてまぶやは驚いたら落ちるくらいに自由なものなのです。ですから誰もがこの事を知っておいたほうがいいでしょう。そしてその対処法を知っておくことです。

そのためには普段からの修練が必要です。船井先生のように経営者が学ぶ姿勢をもち、最終的に魂や意識の領域の解明に行き着くことはとても正しいと思います。

魂と心の関係

沖繩に、「くちげーしー」という儀式があります。これは、家の新築祝いをした次の日に行うもので

せずにいると、次には肉体に負担がきて大変なことになってしまいます。

新築祝いは、節目として必ずやる必要があります。しかし次の日には、きちんとこの「くちげーしー」の儀式もやる必要があります。

たましい——心——肉体、このお互いに影響を及ぼす3つの関係を知ること、自分や家族も守っていくことができます。

「チューインカイ ナインドウ」

沖繩の昔の人は、子どもの頭をなでながら「チューインカイ ナインドウ（人間になりなさい）」と言いました。「辛いこと、悲しいことを喜びとし、あならしい人間になりなさい。その時、あなたの苦悩はなくなり、人生のどんな障害も、ただの平らな道となる」——そんな意味を込めて、人間になりなさいと教えたのです。

書道において「人」という文字は、最後の「はらい」

す。これは新築の家にお祝いに来た人々の、「うらやましい」という嫉妬や妬みなどの心の感情、負の感情を家から追い払う儀式です。家の奥さんが玄関から外に向かって祈りと祝詞をあげます。これによって本当に気持ちのよいエネルギーだけが家に残るようになります。

このようにして負のエネルギーを祓わないと、その家のご主人が急に病気になったり、悪い場合には亡くなってしまったということが起きてしまいます。家を建てるということは人生の一大行事ですから、実に膨大なエネルギーが動くのです。

沖繩では、古来からこのエネルギーの流れや、善いエネルギーだけを受け取る方法がわかっていたようです。先人の知恵ですね。

私たちの魂は純粹で、本来そこにはあまり感情的なものはありません。しかし「心」は感情を伴います。どんなに魂が純粹でも心は自然に反応してしまうのです。また心の状態は、エネルギーとなり周囲に作用します。心に流れ込む負のエネルギーを交換

がなければ、「人」という文字にならないと教えられます。ハライという踏ん張りがなければ「人」にならないのです。例えば、突然隣の人が倒れ込んできたとします。あなたは踏ん張っていないければその人とともに倒れ込んでしまうでしょう。でも踏ん張っていれば、相手を支えることができます。お互いに助け合い生きる。「人」という字は相手を支え共に生きることを意味しています。

では、「人」と「人間」の違いは何でしょうか。狼に育てられた狼少女は、人間に発見され、人間としての教育が始まりました。4足歩行から2足歩行ができるようになりましたが、言葉はほとんど覚えられず遠吠えをしていたと言います。

このように人の魂として生まれても、人間として育てられなければ、人は人間にはなれないのです。人間の間でコミュニケーションを取ることで社会が作られていきます。だから赤ちゃんは言葉を覚えて人間として教育されていきます。それを表わしたのが、沖繩のすばらしい言葉「チューインカイ ナイ

ンドウ」なのです。どんなすばらしい魂をもつていても、それを磨かなくては立派な人間になれません。ただ残念なことに、この言葉は沖繩においても伝えられていないのです。沖繩に生まれ育った大人の一人として、ヤマトの言葉（標準語）で伝えていくことが私の役割なのかもしれません。

魂の記憶を書き換える

カウンセリングに、大きな内観として「家系図を知る」という手法を使っていますが、上は両親から祖父母、下は子どもから孫まで、上下三代まで掘り下げて家系図を辿ります。今、抱えている問題は、輪廻としてめぐりめぐって降り掛かってきていることがあり、誰から影響を受けているのかを知るために家系図を見ます。そして、輪廻を断ち切り、原因のクギを抜くのです。

私は16歳のとき、母親が蒸発してしまいました。そんな母親を許すことができずでしたが、家系

図を調べていくうちに、母親もまた16歳のとき、親と離れ離れになっていたことを知りました。「16歳で親の愛が切れ自立した母だからこそ、大丈夫と思いき、私の代でこの連鎖を断ち切らなければ、子どもたち、孫まで続くと思いました。」

子どもに虐待をしている人は、親から虐待を受けた経験を持つ人が多く見られます。誰かが断ち切らなければ、連鎖として悪夢は続いてしまいます。ただ「こうなりたくない」と思い続ければ続けるほど、潜在意識として刷り込まれてしまいます。気づいた人（自分）が切るしかないのです。

連鎖を断ち切る方法とは、許すことです。家系図を書き、自分の口癖や性格は誰の影響を受けているのか、自分自身を内観することが大切です。そして、「私は私である」ことをまず認めます。「私には私の可能性がある、私はすばらしい、自分の可能性を信じている」というように自分の可能性を声に出して、自分に言い聞かせて、「私は○○をしません」と

書き留めます。こうして自分の可能性をプラスの言葉で言い聞かせることで、連鎖を断ち切ります。

魂の喜びを得る

肉体は魂の容器、容れ物です。魂を喜ばせるためにも、肉体を適度に働かせ、休ませ、喜ばせることが必要です。魂が喜ぶとはどんなことでしょうか。おいしいものを食べる、美しい景色を見に行く、演劇やコンサートなどに行くなど人によって様々ありますが、現世で魂を喜ばせる余裕を持つためには、しっかりとした経済的な基盤を築くことが大切です。そこでここでは、経営者として学んだ「お金というエネルギー」を魂レベルでコントロールする方法を紹介します。

相手の魂を喜ばせる

他人も自分も豊かに生きるために、お金はとても

大切なものです。相手の時間を使うことは、エネルギーを奪うこととなります。そこで代価として、お金というツールがあるのです。とても便利な人間の知恵だと思いませんか。

人の魂を喜ばせてあげるとお金が入ってきます。お金とは、誰かを笑顔にさせた分だけ支払われるからです。あなたは笑顔で暮らしていますか？相手にまず笑顔を分けてあげたら、お金という代価が入ってきます。誰かに愛を与えてはじめて、お金も自由も生きがいも手にいれることができるのではないかしら。ニコニコしていると周りに人が集まり、あなたにできることをお願いする人が現れます。

「働く」という字は、「人」が「動く」と書きます。動くことよって、相手（お客様）を喜ばせ、楽にさせてあげる。相手を喜ばせることができた見返りに、お金というツールを受け取ることができるのです。手にしたお金は、今度は私を喜ばせてくれた人やモノに与えられるのではないのでしょうか。

喜んで受け取り、喜んで与える。数字（お金）には

物語があります。今、手にしているお金がどこから入ってきたのか分かれれば、感謝の気持ち^かが湧いてきます。だからこそ、今就いている仕事(働く事)に真心で取り組むことが大切です。喜んで働ける人は「天から与えられた仕事」と喜んで受けとめています。「喜働^{きばたら}き」を知らない、自分だけが儲かればいいと勘違いしてしまいます。お金というエネルギーを誤って使わないためにも、「喜働^き」が基本であることを忘れないでほしいと思います。

お財布の健康 心の健康 体の健康

魂を喜ばせるためには、この3つの健康が大切です。幸せを感じるもので、健康は維持するものです。口癖のように毎日、「私は幸せ」と口に出している、日々幸せを感じる事ができます。幸せは感じるもので、お金があるうとなかろうと本人が感動、感激できたら幸せなのです。

では、健康はどうでしょうか。「私は健康だ」と口にするだけでは、健康になれません。健康は維持す

与えられた命だもの 生き抜いてください

「チューインカイ ナインドウ(人間になりなさい)」というために、伝えたいことはまだまだいっぱいあります。最後にこれだけは伝えたいという大切なものを紹介します。

心配を心配りに変える

人生は皆、公平にできています。人生それぞれ、山あり谷あり。大波小波のそれぞれを充分味わいつくすと、次のステージへと歩き出すことができて来ます。谷のときには人生のネタづくりをしていと思うって存分に味わい、山するときには、感謝を忘れずに謙虚になる。それができたら「人生最高ヤツサ」(沖縄の方言で人生最高です)。

他人と比べず、誰かの評価も気にせず、お金の心配をすることなく自分の考えを堂々と伝えられる。

るもので、「体の健康」「心の健康」「お財布の健康」の3つの健康が揃ってはじめて、健康と言えます。

人間は、肉体という器を持ち、歳とともに老化します。体の健康を維持するには、筋力をつけたり免疫力をつけるために、歩いたり体操やヨガをしたり管理しなければなりません。メタボリックシンドローム解消のためにダイエットをすることも大切ですが、内臓を強化するための健康づくりも必要です。

心の健康を保つためには、自分が満足する時間を過ごすことです。自分自身の内なる声に従い、心に響く音楽を聴いたり素敵な絵を見たり本を読んだり、自分の好きなことをする時間や落ち着く時間を創り出します。他人時間ばかりを過ごしていると、ストレスがたまり他人依存型になってしまいます。

お財布の健康とは、経済的な健康のことです。貯金をしたり投資をしたり、資産を築いて、お金と自由と生きがいを持つことが大切です。

心配ばかりしていると不安になるけど、「心配」に「り」を加えて「心配り」をすれば不安も安心に変わります。いつも何かを怖がって不安になるのではなく、失敗をおそれず新しいことにチャレンジする。自分の可能性を信じてあげて、自信をもつ。自分という人間を信頼し、あなたの「意思」「決意」そして「勇氣」があなたの人生を変えていきます。それがあなたの潜在意識、潜在能力を動かしていくのです。今は勇氣が出ない方でも、そのことに気づき、自分の人生を取り戻す小さな一歩を踏み出してほしいと思います。

与えられた命だもの。自分も他人の命にも真剣に向き合って、一生懸命いきいきと生き抜いてほしいと思います。

最後に私の敬愛するマザー・テレサの言葉をご紹介します。

「人は不合理、非論理、利己的です。

気にすることなく、人を愛しなさい。

スピリチュアル・ジャ〜ニ〜

インド二人旅の巻 (その6) 忘れられないおじいさん

作・赤池キョウコ



赤池キョウコ (あかいけ きょうこ) イラスト作家。『船井幸雄のツキを呼ぶコソ』(共著・グラフィ社) など著書多数。HP: www.3tokai.or.jp/kyontan/
ルミと良子の編集長



あなたが善を行つと、
利己的な目的でそれをしたと言われるでしょう。
氣にすることなく、善を行いなさい。
目的を達しようとするとき、
邪魔立てする人に出会うでしょう。
氣にすることなく、やり遂げなさい。
善い行いをして、
おそらく次の日には忘れられるでしょう。
氣にすることなく、し続けなさい。
あなたの正直さと誠実さが、
あなたを傷つけるでしょう。
氣にすることなく、正直で誠実であり続けなさい。
あなたが作り上げたものが、壊されるでしょう。
氣にすることなく、作り続けなさい。
助けた相手から、
恩知らずの仕打ちを受けるでしょう。
氣にすることなく、助け続けなさい。
あなたの中の最良のものを、
この世界に与えなさい。

たとえそれが十分でなくても
氣にすることなく、
最良のものをこの世界に与え続けなさい。
最後に振り返ると、
あなたにもわかるはず、
結局は、
すべてあなたと内なる神との間のことなのです。
あなたと他の人の間のことであつたことは
一度もなかつたのです」
なんて魂は純粹で、この肉体をもつ現世はこんな
にも不条理なのでしよう。でも大丈夫！ みなさん
にいっぱい幸福がやってきますように！
あなたの悩みや試練は、人生の宝です。カウンセ
リング、家族や仕事の問題、経営コンサルティン
グの相談など、いつでも受けつけております。
みなさんにお会いできることを心より願つて、こ
の沖縄でお待ちしております。